



ひすい

系魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 7月号 (No.4)

令和8年7月24日発行

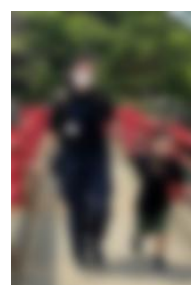
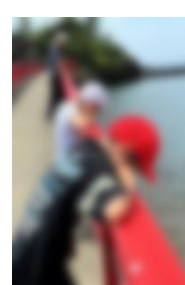
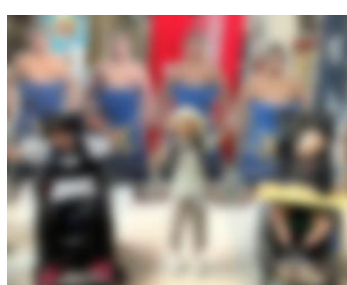
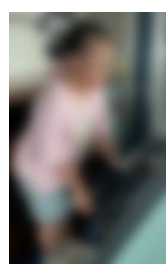
4月9日(木)の始業式から7月24日(金)まで72日間の1学期が終了しました。保護者・地域の皆様のご支援により、児童生徒が着実に学習を行うことができました。これもひとえに皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



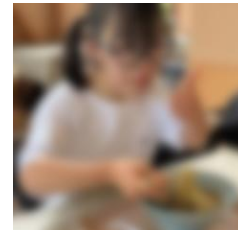
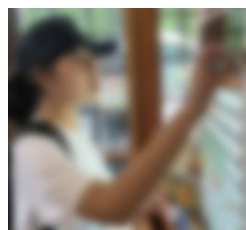
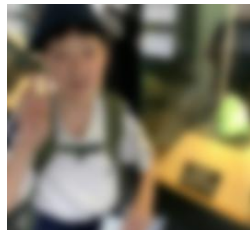
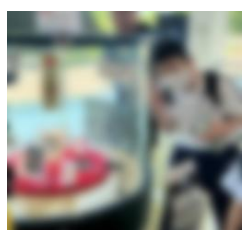
小学部・中学部の教育活動

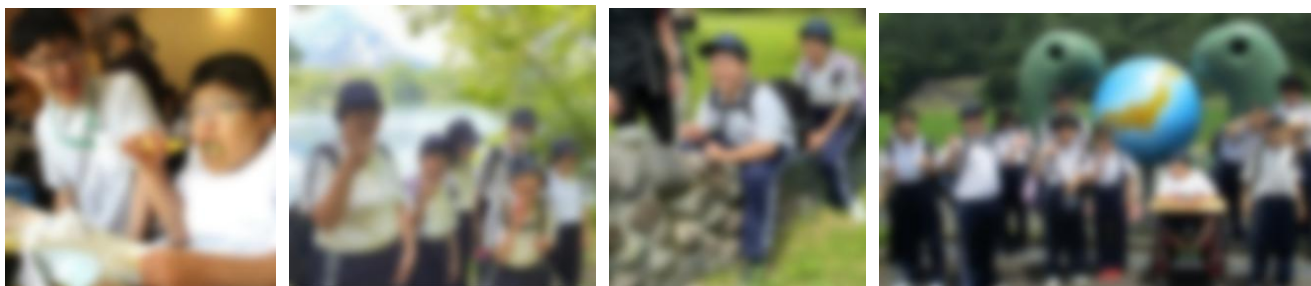


小学部では、7月17日(金)に能生漁港やマリンドリーム能生周辺の施設を利用しながらふるさと糸魚川について学習を実施しました。最初は、県立海洋高等学校の栽培漁業臨海実習棟でひらめやのどぐろの成長の様子を見ました。また、能生漁港内に停泊する実習船「海洋丸」を見たり、マリンドリーム能生では一人ひとりが食券を買って昼食を注文したりしました。その後、弁天岩付近で散策をしました。活動を通して、糸魚川の自然や良さを感じることができた校外学習でした。



中学部は、6月19日(金)に、バスに乗車して校外学習に出かけました。晴天に恵まれ、予定どおりに教育活動を行うことができました。活動コースは、フォッサマグナミュージアム(日本初発掘のラピスラズリ見学)→フォッサマグナパーク(車窓より)→根知の渡辺酒造店→高浪の池(昼食)→周辺散策のコースです。学習を通して、ふるさと糸魚川の自然や歴史、文化に興味や関心をもつことができました。また、様々な公共施設をみんなが気持ちよく利用するためにマナーを守って活動することができました。





児童生徒は、訪問先の調べ学習を行ったり、バス内でのマナーなども学んだりしました。学校では、授業での学びを通して、ふるさと糸魚川の良さ等を知ることが大切になっています。

明日から長い夏休みとなります。家庭での児童生徒の活躍の場や家族の一員としてお手伝いを積極的に行ってほしいです。また、地域のお祭りや行事などが実施されると思われます。自分たちが暮らす糸魚川を知る良い機会でもあります。夏休みには、長期休みならではの体験ができることを願っています。

わひわひタイム 糸小との交流

ひすいの里総合学校と糸魚川小学校とは、年間を通じて様々な交流を実施しています。その一つとして昼休みを利用して、糸魚川小学校の児童とひすいの里総合の児童と一緒に交流をしました。体育館で鬼ごっこをしたり、絵を描いたり、卓上ゲームをしたりしました。同じ校舎で過ごす友達として、互いに様々な機会を見つけて直接的・間接的に関わる場面を設定しています。また、七夕に向けて短冊や飾りを協力して作りました。様々な願いが書かれた短冊がわひわひ広場に飾られました。



楽しんだ!楽しませた! 小学部・中学部の夏まつり

7月3日(金)に小学部の夏まつりを、7月15日(水)に中学部の夏まつりを開催しました。児童生徒は、お客さんに楽しんでもらおうと張り切って準備を進めました。それぞれの学部では、招待状や看板の作成から運営までを児童生徒が行い、当日も案内係や受付、道具の準備など役割を全員で分担しました。それぞれが任された仕事に一生懸命に取り組み、来場者を楽しませることができた夏まつりでした。

